

わくわく 本だな



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年
★★ = 3・4年
★★★ = 5・6年

『パパのところへ』(えほん)

ローレンス・シメル／文 宇野和美／訳
アルバ・マリーナ・リベラ／絵 岩波書店



ママとわたしは、^{がいこく}外国ではたらいているパパとくらせることになりました。でも、知らないところへいくのは、ちょっとこわい。

『きいろいふうせん 地球一周』(えほん)

ちきゅういっしゅう シャルロット・デマトーン／作 西村書店



きいろいふうせんが、せかいをたびします。ふうせんは、いろいろなばしょにかくれています。みつげられるかな。

『チューリップかほちゃん』 ★

あさのあつこ／作 石井聖岳／絵 毎日新聞社

ようちえんのチューリップがめちやくちやにされました。かほちゃんは、チューリップをまもるためにへんしんします。



『青い空がつながった』 ★★

毛利まさみち／作 うめだゆみ／絵 新日本出版社

みやぎけんいしのまきし 宮城県石巻市から、広島へひっこしてきた^{まみ}麻美。ある日、公園で子犬を見つけます。じつはその子犬も、^{しんさい}震災からにげてきたのです。



『木かげの秘密』 ★★★

浅野竜／作 杉田比呂美／絵 学研教育出版



^{はづき}葉月は校庭の木のうろで、金魚を見つけます。うろの中に水がためてあって、だれかがせわをしているようです。

『きれいですごい鳥』 (ちしきの本)

上田恵介／監修 赤木かん子／文
パイ インターナショナル



鳥のすごいところは、たくさんあります。大きさ、^す巣の場所、羽の色。世界のいろいろな鳥がのっています。



あたらしく はいった本

『ルイのうちゅうりょこう』 (えほん)

エズラ・ジャック・キーツ/作 田村恵子/訳 偕成社

ルイは、がらくたでつくった「ルイ1ごう」で、友だちのスージーとうちゅうりょこうに行くことにした。さあ、しゅっぱつだ。



『わたし小学生まじよ』 ★

中島和子/作 秋里信子/絵 金の星社



小学生になったリリコは、おばあちゃんからまほうのほうきをもらいました。おばあちゃんは、まじよだったのです。

『とまれ、とまれ、とまれ!』 ★

宮下すずか/作 がみ/絵 くもん出版



きょうは山へ遠足です。先生は「とまれ」とさげびました。あんまりひびくので、そのうち鳥や虫までとまってしまうます。

『すてもる』 ★★

はやみず陽子/作 鈴木びんこ/絵 佼成出版社

けいたの家は、ひろってきた動物でいっぱい。毎日のせわもたいへん。そんなある日、今度は庭でモルモットを見つけてしまいます。



『翼のはえたコーヒープリン』 ★★

西村友里/作 三村久美子/絵 国土社

えりのパパは、ケーキ屋なのにコーヒープリンしか作れないし、いつもヘンなきぐるみをきている。こんなパパは、もういやだ。



『ベイジル ねずみの国のシャーロックホームズ』

★★★★ イブ・タイトス/作 ポール・ガルトン/絵
晴海耕平/訳 童話館出版



ねずみのベイジルは名探偵です。ある日、こつぜんときえた小さなふたごの姉妹を、さがしてほしいと依頼されます。

『透明人間になった男の子のはなし』 ★★★

サリー・ガードナー/作 三辺律子/訳 小峰書店



サムのお父さんとお母さんが、月旅行で行方不明になってしまいます。その夜、ねむれないサムの前に、宇宙人が落ちてきました。

『ウマがうんこした』 (ちしきの本)

福田幸広/写真 ゆうきえつこ/文 そうえん社

ウマはうんこにきょうみしんしん。においをかげば、なんでもわかってしまうのです。



『昭和の子ども生活絵図鑑』 (ちしきの本)

ながたはるみ/絵 奥成達/文 金の星社

メンコ、石けり、べいごま…。今から50年前の子どもたちのあそびです。どんなふうにあそぶのでしょうか。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね! としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273